



すだ 須田こうへい

県政レポート

立憲民主党・かながわクラブ 横浜市旭区政務活動事務所

〒241-0022 旭区 鶴ヶ峰2-9-11 ビッグフィールド2F-2

TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445

E-mail:sudamame.net@gmail.com

須田こうへい プロフィール

- ◇神奈川県議会議員(旭区選出)…29,722票で2期連続トップ当選
- ◇立憲民主党・かながわクラブ(県議会第2会派)
- ◇早稲田大学商学部卒業 / 巣鴨学園卒業
- ◇元・江田憲司公設秘書、古賀茂明Forum4メンバー
- ◇コンサル会社を経て、輸入車ディーラー取締役。後に保険代理店代表。
民間経営者×秘書経験の「現場力」

◇政治信条:「公平・公正でクリーンな政治」
「改革はするが、戦争はしない」
「政治は社会的弱者のためにある」

◇南本宿町在住/PTA会長/元横浜市青少年指導員

大規模災害時の自衛隊等防災関係機関との連携強化について

先の会派代表質問では、能登半島沖地震のような大規模災害発生時に自衛隊はじめ、全国から駆け付けた応援部隊に円滑に活動してもらえるよう、平時から防災関係機関との連携体制を確保しておくことが重要との論点を取り上げました。



県からは担当局に自衛隊の退職幹部、県警察や市町村の消防職員を受け入れていること、また、災害発生時に備え、消防、警察、自衛隊に加え、在日米軍やDMATなど、100を超える機関の参加の下、災害医療をテーマとした、ビッグレスキューを毎年実施していること、さらには、潜入した武装勢力によって、住民に危険が迫る想定の下、住民を安全な地域へ避難させる国民保護実動訓練の実施をした旨の答弁がありました。さらに、県消防学校に設置の訓練施設、「神奈川版ディザスターシティ」では、近年の災害や、緊迫度を増す国際情勢などを踏まえ、ビルの倒壊現場や住宅密集地、土砂災害の現場などを再現した整備の拡充を行っており、今後、実践的な訓練施設でビッグレスキューを開催するなどして、防災

関係機関との連携を一層強化し、本県の災害対応力の強化に繋げる旨の答弁がありました。

相模湾を震源地とする関東大震災から100年余がたち、南海トラフ沖地震は今後30年間で70～80%の確率で発生するともいわれています。本県の広域防災強化に向け、具体的な政策提言を続けてまいります。

能登半島地震の募金募集を継続中

須田こうへい事務所では能登半島地震の被災地の復興に向け、継続的に募金募集を行っております。また、現地での災害ボランティア活動も継続実施いたします。



東日本大震災が私が政治の道を志した原点です。引き続き、安全・安心の街づくりに全力を尽くします。

県政報告

能登半島地震のボランティア活動に参加

神奈川県議会議員 須田こうへい

過日、夜行バスにて石など激甚災害地域の視察川県に駆け付け、3日間も行いました。の災害ボランティア活動 メディアでの報道内容をしめてまいりました。一 は事実の一端に過ぎませ部倒壊家屋からの家財の ん。液化化現象による被害は、特に女性目線での支援が不足しており、本県搬出や破損したブロック 害など損失補填が十分にでも対策が必要です。塀の撤去、被災者や被災 受けられない地域の問題 須田こうへい事務所では来月にも石川県での災害ボランティア活動を予定しています。本県の広域防災強化や被災地支援に向け、取組みについて、県民の皆様のご意見を

立憲民主党・かながわクラブ

■神奈川県議会議員(横浜市旭区選出) ■江田憲司衆議院議員 元公設秘書 ■輸入車ディーラー、保険代理店等の経営経験 ■早稲田大学商学部卒 ■9歳の娘の父、子育て真っ最中! ■PTA会長 ■南本宿町在住

須田こうへい事務所
旭区鶴ヶ峰2-9-11 2F-2
☎045-444-9444
☎045-444-9445
sudamame.net@gmail.com
https://www.sudakohei.net/

をお聞かせください。

女性の視点を活かした災害対策の充実について

政務調査会事務局長を務めました令和5年度県議会では会派を代表しての質疑作成も行いました。能登半島地震発災に先立つ昨年12月、会派代表質問にて「女性の視点を活かした災害対策の充実について」を取り上げました。誰一人取り残すことのない、きめ細かな災害対策を進めるためには、女性の視点を活かすことが重要となります。

県からは、被災地の避難所等での豊富な支援活動の実績と、防災への知見を有する女性の有識者を県の防災アドバイザーに委嘱し、今後、アドバイザーの助言も得ながら、現在改定中の避難所マニュアル策定指針について、乳幼児や女性の視点から充実を図るほか、講演会や研修等、女性の目線からの普及啓発強化に繋げていく旨の答弁がありました。

また、今後、有識者による検討委員会の中で、発災時の安全確保、避難生活、復旧復興等、災害対応の様々な局面で、女性がどのような課題に直面し、どのような配慮や対処が必要なのか、などについて検討を深め、強化すべき対策については、令和6年度に策定する次期地震防災戦略への反映に努めることも答弁されました。

引き続き、地域の皆様の声を聴き、県民目線、特に女性や外国人、障がい当事者など、様々な立場の方々の目線に立った災害対策の充実を訴えてまいります。



プレコンセプションケアと卵子凍結に関する県の取組について

少子化対策は国策として取り組むべき大きな課題です。その中で、女性が将来の妊娠・出産に備えるために行う卵子凍結への関心が高まっておりますが、高額な費用が求められる現状があります。

真に女性活躍を推進するのであれば、仕事(キャリアプラン)と家庭(ライフプラン)の両立が必要です。県としてどのような支援を行っていくのか、会派代表質問で取り上げました。

県からは、卵子は精子と異なり、生まれてから年齢とともに減る一方であることや、老化するといった知識なども含め、将来の妊娠や出産なども視野に入れて、若い頃から自分のライフプラン、キャリアプランを考えていただくことが重要との認識が示され、若い頃から妊娠・出産も含む将来のライフプランを考えて健康管理を行う「プレコンセプションケア」を進める旨の答弁がありました。

さらに、卵子凍結を行うにあたっては、働く女性が仕事と両立できる職場環境の整備も必要であり、卵子凍結に対する理解を深めるための社内研修の実施や、特別な休暇制度の創設などに取り組む県内中小企業等に対し、奨励金を交付して支援する方針が明らかにされました。年間20万円が給付予定で、同様の中小企業支援は全国でも珍しく、神奈川県が先行事例となります。

女性支援の政策は女性議員が多く取り組む現状がありますが、社会を変えるためには男性こそ意識を変え、男女の別なく社会全体で応援しなければならないと考えます。私も重点政策のひとつとして精力的に取り組んでまいります。



国際園芸博覧会の機運醸成に向け、旭区住民の声を届けました

過日、旭公会堂で開催された、生け花の展覧会にお邪魔したときのこと。「私たちが花博に協力したいのに、まったく声がかからなくて寂しいわ」とのお声をいただきました。

さっそく委員会で取り上げ、県が国際園芸博覧会(GREEN×EXPO2027)の機運醸成をはかるにあたり、ご関心が高い団体に県から積極的にアプローチするよう提言し、前向きなご答弁をいただきました。引き続き、地域の声を県政へと届けてまいります。



生成AIを活用して、常任委員会質疑を試行しました

先の環境農政常任委員会で、生成AI(ChatGPT,Copilot)を活用して、委員会質疑を実験的に実施しました。常任委員会での活用は神奈川県議会史上初ではないでしょうか。生成AIはインターネット上から情報を収集しますので、広く「集合知」としての见解をアウトプットします。将棋等では「神の一手」をAIが指す事例もしばしば見られますが、議員・当局職員といった人間側にない視座でAIが県民の関心事を拾いあげる可能性もあります。環境問題対策として県議会でもまだ議論にあがっていない「排出量取引制度」をピックアップしたため、私独自の視点も折り込みながら、先取りの質疑をしました。

排出量取引制度はカーボン・プライシングの一つで、対象の企業に排出できる温室効果ガスの上限値を定め、それを超えて温室効果ガスを排出する場合には他の企業から排出権を購入して補う必要があるため、業界全体で温室効果ガスの抑制効果が期待されます。東京都や埼玉県ではすでに導入されています。今後とも「進取の精神」で神奈川県政のアップデートにつとめてまいります。



県政にイノベーションを!! 県の先進技術の視察を行いました



過日、水産技術センターを視察しました。県では海藻が魚に食べ尽くされてしまう磯焼け対策として、成熟の早い早熟カジメの育成に取り組んでいます。藻場の再生は、ブルーカーボンと呼ばれる、海の生態系を活かした脱炭素の取組にも重要です。

県では他にも成長の早い「無花粉杉」の品種をエリートツリーとして育成しています。どちらもなぜ生育が早いのか、遺伝子的な解明は未知のままです。

今後は農林水産技術のイノベーションのため、科学的な研究も重要と考えます。

コラム：神奈川の明日に種をまこう！

毎年、須田こうへい事務所では大学生インターンの受け入れをしています。直近では東海大学から3名の参加がありました。県に対する政策提言を課題提出していただいております。今年も環境問題対策として、和歌山県産で北海道庁にも採用されている「戻り苗プロジェクト（森でドングリを採集し、自宅やオフィスで育てたのち、森林に植樹するプログラム）」の調査研究をしていただきました。神奈川県でも類似事業を行っており、進捗について環境農政委員会で質疑しました。

引き続き、若者の声を代弁し、育成に力をいれてまいります。インターン制度についてぜひお気軽にお問い合わせください。



県民の声をお聞かせください!
右QRからメールで送れます!



〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11 2F-2
TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445
HP:<https://www.sudakohei.net>
Eメール:sudamame.net@gmail.com

facebook



※法令を順守し、「須田こうへい」の政治活動にのみ使用いたします。(須田こうへいの県政レポートや各種イベントのご案内を配信、郵送させていただきます)

ご意見・ご要望など	連名①	お名前	〒	TEL
	連名②	フリガナ	横浜市旭区	045-
		ご住所	建物名	FAX
				045-
		E-mail		Mobile
		ご支援内容		
	連名③	<input type="checkbox"/> 県政レポート定期送付のお申込み <input type="checkbox"/> 党員・協力党員ご登録 <input type="checkbox"/> 政務活動ポスターのご掲示 <input type="checkbox"/> ボランティア・インターン体験登録		

インターン生が聞いた街の実態

※本ページはレイアウトや意見の文案等をインターン生が作成しています。
地域のお声は、市政等へのご意見も含め生の声をそのまま掲載しております。

《防犯》

- ・最近物騒なので防犯カメラの設置や、街の防犯対策を強化してほしい。
- ・安心して暮らしたい。戦争をなくしてほしい。

《福祉》

- ・道が狭くベビーカーが通れない。
- ・コロナの時期に保育園に通えないのに、保育料が取られていた。
また、そのお金もなかなか返されず、地域によって差があった
- ・小さい子のイベントが減った気がするので若い人も減ってしまいそう。
- ・障がい者をどんどん雇用してほしい。
- ・今現在は地域の人が子育てに協力的、地域全体で子育てできている。

《税金》

- ・市民税を払っている恩恵をあまり感じられない。
→市営バスも走らなくなってしまった。
- ・横浜市内でもみなとみらいなどと比べて不公平ではないか。
- ・税金などのお金をちゃんと国民のために使ってほしい。
- ・コスト配分をしっかりとしてほしい(見えないところにもお金を使ってほしい)
- ・税金の支払いが大変(固定資産税など)

学生の声

防犯カメラの設置だけではなく、巡回パトロールや地域内のコミュニティの強化も重要ではないか

保育料などの返金対応などが地域によって格差があるので、統一するべきではないか

国が税金をどれくらい、どこにどのように使ったのかを国民にわかりやすく発信すべきではないか

郵便はがき

2 4 1 8 7 9 0

料金受取人払郵便

横浜旭
郵便局承認

3015

差出有効期間
2025年
6月 6日まで
(切手不要)

横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11
ビッグフィールド2F-2
須田こうへい事務所 行

FAX:045-444-9445



皆様のお声をお聞かせ下さい。(地域のお困り事、県政へのご意見など)



より多くの皆様にお越しいただけるよう、落ち着いてご相談が出来るようになっております。
生活での困りごとから、あなたのお悩み、今の政治へのご意見など、どんなことでもお気軽にご相談下さい！

**皆様のご来訪、
お待ちしております！**